

サルビア

令和7年度 YIC 日本語サークル発表会

YIC日本語サークルでは、約250名の外国人学習者が日々日本語を学んでいます。

令和7年3月22日（日）には、7組の学習者が母国と日本の生活の違いや将来の夢についてスピーチや歌を発表しました。

当日は、家族・友人、日本人ボランティアなど79名が参加し、温かい雰囲気の中で発表を見守りました。



ベトナムの 私の民族

最初は緊張したけれど、楽しく発表できた。聞いてもらえてうれしかった。



ズイさん
ベトナム



インドネシアの 文化遺産

人が多くとても緊張したけれど、日本語で初めての発表ができてドキドキした。



ロフミさん
インドネシア



日本に来た理由

参加できてうれしい。故郷を紹介できたし、日本語で話す良い経験になった。もっと成長したい。



厳さん
中国



和食

初めてみんなの前で発表できて良い経験になった。日本語で漫才にも挑戦したい。



ユウジさん
ブラジル



タイについて

たくさん練習したので緊張せずに楽しめた。日本語で発表できてうれしい。



ニポンさん
タイ



ミャンマーの 水祭り

発表は大変だったけれど、練習して新しいことを学べてよかった。



ウェイさん
ミャンマー



- ・ 未来へ
- ・ タナー アイル
- ・ スゲン ダル

緊張はしたけれど、みんなの応援のおかげで楽しく歌うことができました。たくさん練習してきた成果を出せて良かったです。



インドネシア



（太字：発表タイトル・歌の題名 / 細字：発表会での感想）

発行

公益財団法人四日市市文化まちづくり財団 四日市国際交流センター
Yokkaichi International Center

YIC日本語サークル

YICでは、日本語ボランティアと外国人学習者が日本語を勉強する『YIC日本語サークル』を毎日開催しています。学習者のニーズに合わせてマンツーマンで勉強しています。

ボランティア活動

2019年9月から日本語ボランティアをしています。きっかけは高校の同窓会のときに会った友人から勧められたからです。話し相手になってあげればよいという気持ちから始めました。この活動をしていると、こちらの方がいろいろと教えられ励まされる事が多いです。週に1日か2日の休日に日本語を学びに来るのは大変だと思います。「日本に来て良かった。」「日本で働いて良かった。」と思ってもらえたらいいなと思って活動を続けています。



荒木 昭二さん



黒川 浩さん

なんとなく気になっていた日本語ボランティアを始めて1年半、これまで主に東南アジアの人たちと会話を楽しんでいますが、いろいろな人がいます。クーデターで仕事を失職を求めてきた人、技能実習生、大学のインターンシップ、仕事で来た人の配偶者など。ご苦労もあると思いますが日本での生活を楽しんでいる様子もうかがえます。写真の彼は登山が好きで先日も雪の御在所と藤原岳に登った話を楽しそうにするので私も行きたくなりました。いろんな刺激を受けられ視野も広がるこのボランティアをこれからも続けたいと思います。

四日市でも海外の若者が増えていると感じていた時、YICのボランティアを知りました。言語や文化の違う国で仕事をする方のお手伝いをしたいと思ったのがきっかけで応募しました。現在、ミャンマー、インドネシア、ベトナムの方を担当させていただいています。仕事や勉強で忙しい中、毎週通う姿を見ると応援したい気持ちでいっぱいになります。YICの学習を通して日本語を好きになり、将来母国へ帰った時「日本へ行って良かったな」と思ってもらえたら嬉しいです。



市川 ひとみさん

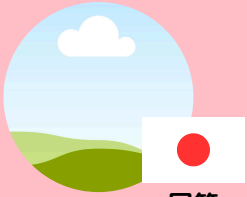


大縄 恵美さん

2025年3月から活動を始め、現在はお二人の生徒さんを担当しています。平日は仕事をしているため、毎週土曜日に一緒に勉強しています。生徒さんが日本語に真剣に向き合い努力される姿に、私自身も多くの刺激をいただいています。外国人避難者受入訓練や和菓子イベントにも参加しましたが、四日市で暮らす外国の方々が安心して充実した生活を送れるよう、言葉だけでなく国を超えたコミュニティづくりにも少しでも貢献できればと考えています。

学習者紹介

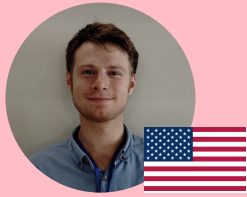
名前



国籍

- 日本に来て驚いたこと
- 日本語で好きな言葉とその理由

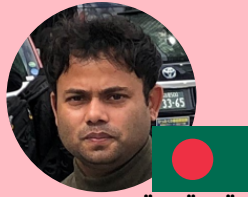
ジョナ



アメリカ

- ミスをしたときでも人々が丁寧に接してくれることです。もっと頑張ろうという気持ちになります。
- どうぞ：とても便利だからです。

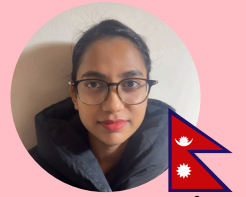
ジャミル



バングラデシュ

- 電車の時間が正確なので驚きました。
- ははと母：“はは”はバングラデシュで笑った時の声です。でも日本では“母”は大事な言葉です。

サビナ



ネパール

- スーパーで商品がきれいに整理されていること。
- 挨拶の言葉（おはようございます、とか）：とても相手を大切にしている言葉。

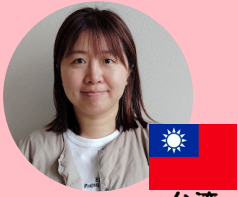
李



中国

- 祭りにたくさんの方が来てたこと。
- 気をつけて：他人への気遣いが感じられるため。

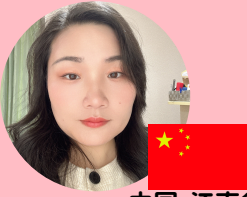
チン



台湾

- 子どもが友だちと一緒に歩いて登下校することに驚きました。
- 上手：“上手”と言われると、自信がついて嬉しい気持ちになります。

ラン



中国・江西省

- 物価が中国の二線、三線都市に比べてはるかに高いです。
- 思いやり：人間関係を維持することに大切なものだと思います。

ラム



ベトナム

- 日本には四季があって景色がきれいです。
- セーの：みんなで重いものを持つときにかける言葉。タイミングがよく合う。

カルメン



ペルー

- 何層にもわたる高速道路の力オスな景観に驚きます。
- こちらこそ：言葉の響きも意味も好きです。

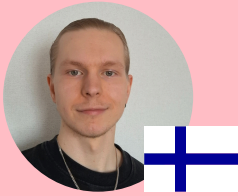
ミナ



ルーマニア

- 夏は室内が暑くて湿度が高く、冬は寒いことに驚きました。
- お疲れ様でした：仕事で良い一日を過ごした後と言うと気持ちがいい。

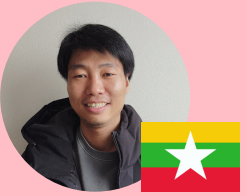
トニ



フィンランド

- お酒が安くて簡単に手に入ることに驚きました。
- カラオケ：歌うのが好きだから。

アウン



ミャンマー

- 地下街がとても広くて街のようです。雨の日には傘がいりません。
- 一期一会：人との出会いを大切にするという考え方がすてき。

マユミ



ポーランド

- 町がすごく大きくてきれいで、そして静かなので、びっくりしました。
- やばい・めっちゃ：いろんな時に使われる便利な言葉です。

マルシア



ブラジル

- 整理・整頓・清潔・清掃。差別が少ない。
- お疲れ様：人の優しさが伝わってくる言葉。

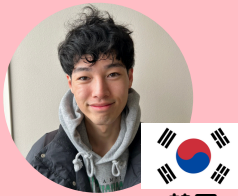
ユリア



ブラジル

- 天気
- ありがとう：優しさを感じるから。

タカユキ



韓国

- 電車が田舎まで来るのに驚いた。神社が多い。
- 行動に際して、あまりに臆病になったり、神経質になることがないように。

ティファニー



カナダ

- 伝統文化が長きにわたって継承されていること。例えば、萬古焼とか。
- 居酒屋：おいしい食べ物がいっぱいだから。

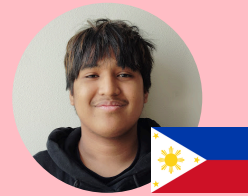
ディディ



インドネシア

- 暖かい国から来たので外の寒さに驚きました。
- 地球：私たちが住む場所です。

ミゲル



フィリピン

- 夜10時には外に誰もいないことです。フィリピンでは真夜中でもいました。
- おいしい：日本食やお茶が大好きだからです。

クインシー



フィリピン

- お風呂とトイレが別々になっていること。フィリピンでは一緒です。
- おはよう：挨拶をして笑顔を見るのが好きだからです。

令和7年度イベント

4.20 Coffee Break “Republic of the Congo”

ディディエさんがコンゴ民主共和国の文化や食べ物、音楽について英語で紹介。写真付きの説明やクイズで会場は大盛り上がり。「知らないことばかりで面白かった」と好評でした。



6.20 YIC親子クラブ

元幼稚園教諭・田中文香さんと一緒に、歌や手遊び、季節の工作を楽しみました。親子で制作に取り組みながら、参加者同士で子育ての話を気軽にできる、あたたかい時間になりました。



6.22 Coffee Break “Bangladesh”

ヤチンさんがバングラデシュの観光地や食文化を英語で紹介。美しいビーチ動画に参加者は興味津々。質問も多く、バングラデシュ出身の参加者との交流も生まれました。



7.6 日本語サークル研修会

前田さんによる「学習者の視点」をテーマにした講義と、て形の教え方を考えるグループ活動を実施。

後半はお菓子を囲んで交流し、オノマトペゲームで笑顔が広がりました。



7.13 水彩画体験

深海さんの指導で水彩画に挑戦。絵を描きながら自然と会話が生まれ、国籍を越えた交流が深まりました。真剣に筆を動かす姿が印象的でした。



7.27 国際理解講座 “India”

ムトゥさんがインドの言語や食文化、観光地を日本語で紹介。写真や動画を交えた説明に質問が相次ぎ、講演後もインド出身の参加者との交流が続きました。



令和7年度は、20回のイベントを開催し、のべ707人の方にご参加いただきました。一年を通して多くの方と楽しい時間を過ごせたことに感謝しています。ここでは、その中からいくつかのイベントをご紹介します。新年度も、みなさんに楽しんでいただける企画を準備していきます。これからも温かいご支援をよろしくお願いいたします。

8.24 TRIO 報告会

ロングビーチ市での20日間の交流を高校生TRIOが写真とともに報告。現地の学校訪問や文化体験の話に参加者は熱心に耳を傾け、国際交流の意義を感じる時間となりました。



10.12 国際理解講座 “Myanmar”

ミャンマー出身の4名が教育・文化・食・観光をテーマに発表。民族衣装やタナカの実演もあり、参加者は本物の文化に触れられたと大喜び。発表後の交流も盛り上がりました。



11.9 多文化講座 “日本生まれインターナショナル育ち”

レイチェルさんが自身の生い立ちやインターナショナルスクールでの経験を英語で紹介。多文化の中で育った視点に参加者は引き込まれ、学びの多い時間となりました。



12.7 日本語サークル研修会

4名の外国人講師が学習方法やおすすめ教材を紹介し、参加者の質問に回答。後半はグループ交流で会話が弾み、普段話さない人ともつながれる貴重な機会となりました。



12.13 和菓子と茶道で深める国際交流体験

和菓子づくり、茶道、着物の3つの日本文化を体験。職人の実演や茶室での茶会、着付け体験に参加者は大満足。日本文化を深く味わえるイベントとなりました。



2.15 Coffee Break “Finland”

トニさんが、英語でフィンランドの魅力を紹介してくれました。クイズから始まり、自然や動物、季節の過ごし方など、フィンランドの日常が身近に感じられる時間が続きました。



2025TRIO

自分を大事にし認め合う心

今回の派遣事業でありのままの事の大切さを学びました。ロングビーチ市ではLGBTQの人たちを見かける事がよくありました。その時に性的多様性を尊重していると感じました。例えば街中で同性カップルを見た周りの人は誰も否定的な目や好奇心目で見ていない人はいませんでした。誰もが

ありのままの自分であることはその人の人生を華やかにし個々の人間性を深めると思いますが、だからより良い世の中になり人生を最高のものにできる人が増えると思いました。



水谷 優菜さん

四日市メリノール学院高校3年生

人とのつながりを広げ、深める学び

私は、今回のTRIO事業を通して、言語や文化の違いに挑戦することで、自信や柔軟性が身につくことを学びました。相手の文化を尊重しながら自分の文化を伝えることで、深い交流が生まれると実感しました。また、新たな人とのつながりが増えたことも嬉しかったです。多様な価値観を受け入れる経験によって視野が広がり、今後は自分の周りや地域でのつながりを大切にし、地域貢献に関わりながら、人との関係をより深めていきたいと考えるようになりました。



永井 杏奈さん

セントヨゼフ女子学園高校1年生

国際交流の懸け橋になるということ

今回、TRIOとして米国ロングビーチを訪問しました。姉妹都市友好協会の方々の献身的な尽力のおかげで、通常の海外旅行では訪問できないような場所（警察署や動物病院見学、高校や大学訪問、消防船乗船等）で、貴重な体験・交流ができました。国と国の懸け橋とは、お互いの友好を深め、

その関係を未来に繋げていくという人的交流が大きな役割を果たしており、私自身も今回の派遣を通じて、その一端を担っていききたいという想いを強くしました。



吉川 美紀さん

白子高校教諭

四日市国際交流センターでは、四日市市からの委託を受け姉妹友好都市米国ロングビーチ市へ高校生2名（学年は派遣当時）と教師1名（通称「TRIO（トリオ）」）を7月下旬から派遣しました。約3週間の滞在を通して、現地の人々との交流や学校生活を体験しました。

これはカンボジアダンスを体験させて頂いた時の写真です。その国の方たちがダンスの動きと意味を丁寧に楽しく教えてくれました。そして伝統衣装の体験もさせて頂きました。私が普段踊っているダンスと違ったので新鮮でした。



LBCC（Long Beach City College）の学校紹介で出会った学生たちとの写真です。以前、日本で知り合っていた学生とも再会でき、とても嬉しかったです。日本語を学ぶ姿勢が印象的でした。

Marine Mammal Care Centerで、海洋生物の保護に関する映像や話を聞き、環境保護の大切さを実感しました。



「四日市市国際交流基金」へのご寄付のお願い

「四日市市国際交流基金」は、四日市市の国際性と市民の皆様の国際感覚を高めることを目的とし、姉妹都市・米国ロングビーチ市や友好都市・中国天津市との青少年の交流事業などに活用しています。基金の趣旨をご理解いただき、皆様のご協力をお願いします。

【問い合わせ】 四日市市秘書国際課 | ☎ 059-354-8097

YIC利用案内

行政相談

(毎月 第3日曜日 13:00~16:00)

ビザ（在留資格）に関する手続きや、次のようなご相談を無料で受け付けています。

- ・ 在留資格の申請・変更
- ・ 在留期間の更新
- ・ 永住申請
- ・ 国際結婚・離婚に関する手続き
- ・ 日本国籍の取得
- ・ 帰化申請

行政手続きに関するご相談を専門相談員がお受けします。

令和8年度賛助会員

YICの活動にご賛同いただける賛助会員を募集しております。ぜひご入会いただき、多くのご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

- ・ 年度会員制 / 賛助会員特典あり
- ・ 会費：個人一口 3,000円 / 団体一口 10,000円

生活相談

(開館時はいつでも受付)

日常生活で困っていることや、日本の文化・習慣について知りたいことなど、どんな内容でもご相談いただけます。

- ・ 生活での困りごと
- ・ 日本の文化や地域のルールでわからないこと
- ・ どこに相談すればよいかわからない場合 YICスタッフが丁寧に話をうかがいます。

翻訳

YICに登録しているボランティアや職員が、日本語から外国語への翻訳、および外国語から日本語への翻訳をお手伝いします。

- ・ 翻訳料：1枚（約800字）につき
三重県内在住・在勤の方 3,000円
三重県外の方 4,000円
- ・ 翻訳ボランティアは随時募集中です。どの言語でも登録できます。

四日市国際交流センター Yokkaichi International Center

〒510-0093 四日市市本町9-8 本町プラザ6階

TEL：059-353-9955 / FAX：059-355-5931 /

E-mail：yic@yokkaichi-shinko.com

休館日：月曜日・祝日・年末年始



◁ YIC Instagramはこちら
ID：yokkaichiinternationalcenter



◁ YICホームページはこちら
<https://yokkaichi-shinko.com/yic/>

